

しおさいホール／映像シアター・オリジナルアニメーション

# 小さな瀬戸の大きな物語

～平清盛 目招き伝説～

〈上映時間：約20分〉



音戸観光文化会館 うずしお

## ◆ストーリー◆

平 清盛の「日招き伝説」をもとにした、瀬戸開削の物語。

平安末期、清盛は海賊を味方につけ、見事に瀬戸の海をおさめる。この活躍が認められ、清盛は安芸守に任命される。

厳島神社で御琴という不思議な娘と出会い、何かに導かれるように目にした音戸の瀬戸。ここは絶好の航路でありながら、水深が浅いため船が通れない、船頭泣かせの海だった。この瀬戸を切り開く決心を固める清盛。

折しも清盛は平治の乱(1159年)で源氏を打ち破り、武家の頭として力を持つようになる。そんな清盛をうとましく思う公家の挑発にのり、清盛はたった一日で瀬戸を開くと後白河上皇に宣言してしまう。火薬もダイナマイトもない時代、海底を削るという難工事をどうやって成功させるのか？ 六千人の人夫を集め、音戸の瀬戸開削に挑む清盛。

その裏で清盛をつけねらう公家たち。清盛の伝説はここから始まった…。

※この物語はフィクションであり、登場する人物 団体等の名称はすべて架空のものです。

## ◆登場人物◆



平 清盛

平氏の頭領。心優しく負けぬけた才覚の持ち主。



木工助家貞

清盛が幼い頃から平氏に仕える、武勇優れた家臣。



後白河上皇

保元の乱の後、院政を行う上皇。清盛への信頼も厚い。



御 琴

突然清盛の前に現れた娘。その正体は…。



凶麻呂・夜叉麻呂

清盛をなき者とし、天下を我が物にしようとする公家。



井 天

瀬戸内海を見守る厳島の神。



源源太義平

平治の乱で殺された源義平。陰陽師により異界から甦る。



「日招き伝説」とは—

瀬戸開削と大工事を決めた清盛は、先ず海まで歩いて行った時、海に沈んでしまっていた。清盛は立ちどめられた。海に沈んで「日招き」の神に助けを求めた。その神は、清盛の願いを聞き、その神の力で、清盛は海に沈んでしまっていた。